

平成 24 年度  
事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

地方独立行政法人府中市病院機構

## 目 次

### 府中市病院機構の概要

#### 1 現況

- (1) 法人名 . . . . . 1
- (2) 法人の所在地 . . . . . 1
- (3) 法人役員 . . . . . 1
- (4) 設置・運営する病院 . . . . . 1-2
- (5) 職員数 . . . . . 2

#### 2 府中市病院機構の基本的な目標 . . . . . 2

### 全体的な状況

#### 1 法人としての総括と課題 . . . . . 2-3

#### 2 大項目ごとの特記事項 . . . . . 3

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に  
関する目標を達成するためとるべき措置 . . . . . 3
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため  
とるべき措置 . . . . . 3-4
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 . . . . . 4
- (4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 . . . . . 4

### 項目別の状況

#### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に

- 関する目標を達成するためとるべき措置 . . . . . 4

#### 1 提供する医療の内容 . . . . . 4

- (1) 高齢化に対応した医療 . . . . . 4-5
- (2) 予防医療 . . . . . 5
- (3) 救急医療への対応 . . . . . 5
- (4) 災害医療への協力 . . . . . 6

#### 2 診療機能の確保 . . . . . 6

- (1) 診療科目の整備 . . . . . 6
- (2) 小児救急医療及び分娩の再開 . . . . . 6

#### 3 地域医療連携の推進 . . . . . 6

- (1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行 . . . . . 6-7

#### 4 医師及び医療従事者の確保 . . . . . 7

- (1) 臨床研修体制の充実 . . . . . 7

(2) 看護系大学などとの連携	7
5 地域住民とともに守る病院づくり	7
(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上	7-8
(2) 医療安全対策の徹底	8
(3) 市民への積極的な情報提供	8
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	8
1 組織・機構の整備	8
2 職員教育体制の充実	8-9
3 事務職員の育成	9
4 働きやすい職場環境の整備	9
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	9
1 経営基盤の強化	9-10
2 収益の確保及び費用の節減	10
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	10
1 病院の建て替えへの対応	10
2 医療機器などの更新	11
第5 予算、収支計画及び資金計画（平成24年度）	12-14
第6 短期借入金の限度額	14
第7 剰余金の使途	14

地方独立行政法人府中市病院機構事業報告書

府中市病院機構の概要

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

(2) 法人の所在地

広島県府中市鶴飼町 555 番地 3

(3) 法人役員

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	横矢 仁	府中北市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	近森 正和	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

(4) 設置・運営する病院

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> ○ 日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設 ○ 日本呼吸器学会関連施設 ○ 日本透析医学会教育関連施設 ○ 日本アレルギー学会準教育施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ○ 広島大学病院協力型臨床研修病院 ○ 日本消化器病学会関連施設 ○ 日本整形外科学会専門医研修施設

所在地	府中市鶉飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病床数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	70 床 (一般 35 床・療養 35 床)
診療科目	内科・外科・整形外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

#### (5) 職員数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

内訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	169	40	207
府中北市民病院	73	39	112
法人合計	236	85	321

## 2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

### 全体的な状況

#### 1 法人としての総括と課題

法人設立の初年度は、2 病院の医療機能の維持、収支目標の達成、組織・職員体制の確立など、現状を把握し、中期計画を達成するための課題を再認識する年となった。

2 病院の医療機能については、法人による病院開設時に許可病床の削減（府中市民病院 199→150 床・府中北市民病院 110→70 床）、外科の常勤医師の法人内異動はあったが、2 病院の診療科の変更はなく、常勤医師の連携により診療機能を維持しました。しかし、2 病院間の医師の連携には負担も大きく、法

人として 2 病院の方向性を見定め、常勤医師の招聘に取り組む必要があります。

収支目標の達成については、法人全体では経常収支比率（経常収益/経常費用）101.3%と黒字決算となりました。収益面での目標に対する達成率では、府中市民病院が外来 108.2%、入院 108.4%、府中北市民病院が外来 111.4%、入院 93.9%と、ほぼ目標を達成しました。しかし、費用面では府中市からの繰り入れを除くと、法人全体では給与費比率（給与費/医業収益）が 73.4%、医業収益比率が 86.7%であり、黒字決算は府中市の繰り入れがあつて達成できるというのが、法人の財務状況である。この現状を踏まえ、中期計画で掲げた、経営面においても地方独立行政法人に相応しい自律的な業務運営によって、市民の期待に応える病院運営に努める必要があります。

組織について、初年度は毎月定例で理事会を開催し、2 病院の運営などの重要事項は、理事長を中心に理事会で決定することを確立しました。職員体制については、府中市民病院は法人職員・J A 広島厚生連出向職員・府中市派遣職員で、府中北市民病院は府中市職員から法人への移行職員と派遣職員で病院事業を継続しました。法人スタート時の J A 広島厚生連出向職員数は 93 人（H24.4.1）でしたが、新年度は 28 人（H25.4.1）になりました。今後も、法人としての職員体制を確立し、経営戦略に対応した職員配置を進める必要があります。

新年度では、課題の解消に向けて、積極的かつ具体的な取り組みを行います。

## 2 大項目ごとの特記事項

### (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

診療機能については、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を開始し、また、府中北市民病院から府中市民病院に、内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携が始まりました。

府中市民病院では、二次救急輪番制病院として外科の緊急手術に対応する職員体制を整えました。加えて平成 25 年 1 月からは、外科の常勤医師が 1 名増の 3 名体制になりました。

府中市民病院は、平成 25 年 4 月から日本透析医学会により岡山大学病院の教育関連施設として新たに認定されました。

### (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

府中市民病院、府中北市民病院ともに、毎月の幹部会議において、病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識と、自主的な経営改善

を促す組織風土の醸成に努めました。

府中市民病院では新たな取り組みとして、年間を通して各職場における改善の取り組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

今年度は、府中市からの繰入金 4 億 9,000 万円により、経営を安定させることができましたが、中期目標の達成には法人独自の経営改革が必要です。

府中市民病院では、①医事課職員を積極的に研修会に参加させる、②睡眠時無呼吸症候群の検査を新規開始、③病棟におけるCSセットの導入、④備品・消耗品・修繕の依頼伝票の取扱い変更を行いました。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

府中市民病院の建て替えに着手し、各部署の職員ヒアリングを実施することで、設計業務に積極的に関わりました。新病院では、電子カルテを導入する方針を決定しました。

項目別の状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

【法人】病院と診療所、医療と介護など日常的な連携を図るため、多田理事長が医師会の会議等に積極的に出席、また地域の診療所の医師や介護施設を訪問するなど、顔の見える関係づくりに努めました。

【府中】訪問看護ステーションあゆみは、訪問看護・訪問リハビリを継続して実施しました。また、「在宅で終末期を迎える療養者を介護する家族を支える看護―看取りをした家族の満足感」についての研究発表が、日本看護協会の地域学術集会で「優秀発表賞」を受賞しました。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

平成 24 年度	訪問診療	訪問看護・訪問リハビリ
利用対象者数	—	74 人

【府中北】2 病院の常勤医師による訪問診療と、訪問看護・訪問リハビリを実施しました。今年度、訪問看護師を 1 名増員しました。

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

平成 24 年度	訪問診療	訪問看護・訪問リハビリ
利用対象者数	5 人	27 人

【府中】 外来患者と家族を対象に、糖尿病教室を再スタートしました。

【府中北】 上下地域での健康教育講座や機能回復訓練を実施しました。

## (2) 予防医療

【法人】 市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を実施しました。

また、市の保健課の要請により国保の特定健診・がん検診を追加で受けるなど、積極的に取り組みました。

	健診種別	前年度	24 年度
府中市民病院	人間ドック	513	340
	特定健診	8	109
	がん検診	84	969
府中北市民病院	人間ドック	87	89
	特定健診	156	200
	がん検診	459	574

【府中】 健康管理室に、糖尿病認定看護師を室長として配置し、予防医療の推進体制強化を図りました。

## (3) 救急医療への対応

【法人】 府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。

府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し府中地域の当番医減少を補完、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当しました。

		前年度	24 年度
府中市民病院	時間外患者数	3,579	3,397
	救急搬入患者数	227	238
府中北市民病院	時間外患者数	1,061	1,181
	救急搬入患者数	160	155

外科手術については、24 時間 365 日の緊急手術に対応する職員体制を整えました。緊急手術は、今年度 28 件行いました。また、法人 2 病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度 17 件でした。

(4) 災害医療への協力

【法人】今年度は、行政からの要請ありませんでした。

【府中】府中市の総合防災訓練に、常勤医師（1名）看護師（2名）が参加し、被災患者のトリアージ訓練を行いました。

【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しています。

2 診療機能の確保

(1) 診療科目の整備

【法人】今年度は、府中地域の近隣病院との連携の第一歩として、府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合を開催し、情報交換を行いました。今後も継続して会議開催し、府中地区医師会とともに府中地域の医療提供体制について協議します。

【府中】平成25年4月から府中地域の福山市新市町で開業する泌尿器科医（ときながクリニック、岡山大学泌尿器科）が、府中市民病院で診療（週1回）を開始することが決定しました。

I 【府中北】黒木整形外科リハビリテーションクリニックの依頼により、MRIの撮影を実施しています。

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

【法人】法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。

現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。

		前年度	24年度
府中市民病院	外来患者数（人）	2,748	2,597
	子宮がん検診（件）	84	431
府中北市民病院	外来患者数（人）	898	603
	子宮がん検診（件）	62	64

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

【法人】市の第1回地域医療シンポジウムで、多田理事長が「府中市病院機構の使命」と題して、医療と介護の連携について発表し、具体的事業について市と継続協議中です。

【府中北】 上下地域の医療機関・施設の職員による地域ケア会議を月 1 回開催しています。

【法人】 地域医療連携室の充実について、市の地域包括支援センターとの具体的な連携について協議を開始しました。「在宅支援システム」のツールとなる I C T 利用について、市と法人の職員が、長崎「あじさいネット」を視察し、府中地区医師会へ報告しました。

#### 4 医師及び医療従事者の確保

##### (1) 臨床研修体制の充実

【府中】 府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ 2012」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。

しかし、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築には至っていません。

【府中北】 府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行いました。

(実績 研修医 3 名・学生 2 名)

##### (2) 看護系大学などとの連携

【府中】 府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。

また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、広島県立大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。

#### 5 地域住民とともに守る病院づくり

##### (1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

【府中】 内科外来患者の診察前のバイタルサインチェック、体重測定により待ち時間の短縮を図るとともに、毎朝 1 時間、通院患者へのあいさつと介助を始めました。

【府中北】 外来掲示板に、インフルエンザ予防など、その時期に合った情報提供を行いました。

【府中】 毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を開始しました。回診及び巡視には、総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境の把握に努めた結果、施設の修繕等に反映できました。

【府中北】 各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、

改善を図りました。

(2) 医療安全対策の徹底

【府中・府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。

【府中・府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。

(3) 市民への積極的な情報提供

【法人】市の健康&福祉まつりに、法人として初参加。2病院の看護師による健康相談を実施しました。

【府中】看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。今年初めて、病院の地元、鶉飼町内会の夏祭りに、出店による参加をしました。

【府中北】上下ひなまつりに病院として出店し、血圧測定や健康相談、ゲームなどで地域との交流を図りました。

【法人】市の広報に、毎月、2病院の常勤医師と職員の紹介記事を掲載。病院のホームページは情報発信が弱く、改善が必要です。

病院広報誌の発刊数【府中】2回

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織・機構の整備

【法人】法人設立の初年度のため、理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。

【府中】院長、副院長（2名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を立ち上げ、毎週定例で開催しています。

【法人】府中市民病院は、厚生連の出向職員から法人職員への移行期であり、2病院間での職員異動は、一部の部署のみになりました。

【府中・府中北】毎月の幹部会議で、経営状況の共有を図りました。

【府中】各部署の積極的な取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。

2 職員教育体制の充実

【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。

区分	府中市民病院	府中北市民病院
医師	21	10
看護師	95	57
医療技術員	92	20
事務職員	15	17
合計（延人数）	223	104

【府中】緩和ケア認定看護師の資格取得のため、看護師 1 名を 6 ヶ月間の研修に参加させました。

【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しました。

【府中北】広島県の「チームケア推進モデル事業」を実施し、市の多職種連携推進研修会で発表しました。

### 3 事務職員の育成

【法人】事務職員については、法人採用の病院職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的事務を担っているため、今後は特に計画的な採用・育成が必要になります。

※事務職員の内訳（総務・人事・医事）の内訳

職員区分		H24.4	H25.4
府中市民病院	法人	4	6
	府中市	4	3
	厚生連	3	0
府中北市民病院	法人	1	1
	府中市	5	4

### 4 働きやすい職場環境の整備

【法人】法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。

## 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 経営基盤の強化

【法人】法人の経営成績は、2 病院の合計で 43,489 千円の黒字決算となり、経常収支比率 101.3%でした。

法人としても収益目標は達成しましたが、市からの繰入金 490,000 千円（当初：400,000 千円、追加：90,000 千円）により経営安定が図

られたものです。

※経営成績（繰入金を除く）

府中市民病院	▲154,572 千円
府中北市民病院	▲291,939 千円
法人全体	▲446,511 千円

指標

項目	府中市病院機構		
	目標値	実績値	増減
経常収支比率（経常収益／経常費用）（％）	101.1	101.3	0.2
医業収益比率（医業収益／医業費用）（％）	92.8	90.9	▲1.9
給与費比率（給与費／医業収益）（％）	64.5	72.4	7.9
医業収益（百万円）	2,929	2,970	41
入院収益（百万円）	1,548	1,688	140
外来収益（百万円）	1,163	1,186	23

※経常収支比率は、府中市からの繰入金を算入後の数値です。

## 2 収益の確保及び費用の節減

【府中】 医事課職員を、積極的に診療報酬関連研修会に参加させ、今年度の加算・管理料等の新規申請件数は、7件でした。新たな検査として睡眠時無呼吸症候群の検査導入に伴い、必要な検査機器等を整備しました。入院患者の日常生活品を、業者によるCSセットを導入することで、病院経費の削減を図りました。備品・消耗品・修繕の依頼伝票を、各部署の管理者の確認印を必須とし、総務課への依頼ルートを1本化することにより、支出のチェック機能を強化しました。

【府中北】 市立病院時代から経費削減を実施しているため、CSセットも既に導入しており、今年度の新たな取組みはありませんでした。

## 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

### 1 病院の建て替えへの対応

【法人】 市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、今年度は基本設計に取り組みました。

【法人】 新病院の機能として、地域包括ケアの推進体制について、市と協議を継続しています。

【法人】 新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数

等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後、投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とにならないよう留意します。

また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めます

## 2 医療機器などの更新

【法人】医療機器の更新や施設の改修については、各病院の医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定しました。

決定にあたっては、法人の中期計画に基づき総合的な判断を行いました。

本年度の投資的経費は、132,706千円で、目標限度額の範囲内としました。

内訳	投資額
府中市民病院	101,103千円
主な購入機器	透析機器一式（透析室） 超音波診断装置（透析室） コンメドシステム（手術室） 低温プラズマ滅菌器（中央材料室） 全自動血液ガス分析装置（検査科） 多項目自動血球分析装置（検査科） 血液脈派検査装置（検査科） ハンフリーフィールドアナライザー（眼科） ホットパック（リハビリ科）
府中北市民病院	31,603千円
主な購入機器	ビデオスコープシステム（内科） 膀胱腎盂ビデオスコープ（泌尿器科） 自動ジェット式洗浄装置（中央材料室） 大型乾燥機（中央材料室）

第5 予算、収支計画及び資金計画（平成24年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

1 予算

（単位：百万円）

区分	予算額	決算額	差額
収入			
営業収益	3,157	3,447	290
医業収益	2,929	2,970	41
運営費負担金	228	268	40
運営費交付金	—	198	198
その他医業収益	—	11	11
営業外収益	99	39	▲ 60
運営費交付金	91	23	▲ 68
その他医業外収益	8	16	8
資本収入	226	123	▲ 103
運営費交付金	80	—	▲ 80
長期借入金	146	123	▲ 23
その他資本収入	—	—	—
その他の収入	—	—	—
計	3,482	3,609	127
支出			
営業費用	3,001	3,271	270
医業費用	2,994	3,266	272
給与費	1,889	2,151	262
材料費	655	510	▲ 145
経費	441	596	155
研究研修費	9	9	—
一般管理費	7	5	▲ 2
営業外費用	81	36	▲ 45
資本支出	276	264	▲ 12
建設改良費	146	133	▲ 13
長期借入金返還金	130	131	1
その他の支出	—	—	—
計	3,358	3,571	213

## 2 収支計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
収益の部	3,283	3,507	224
営業収益	3,184	3,468	284
医業収益	2,929	2,970	41
運営費負担金収益	228	268	40
運営費交付金収益	—	198	198
その他医業収益	—	11	11
資産見返物品受贈額戻入	27	21	▲ 6
営業外収益	99	39	▲ 60
運営費交付金収益	91	23	▲ 68
その他医業外収益	8	16	8
支出の部	3,246	3,458	212
営業費用	3,165	3,422	257
医業費用	3,158	3,417	259
給与費	1,944	2,151	207
材料費	655	510	▲ 145
経費	441	596	155
研究研修費	9	9	—
減価償却費	109	151	42
資産減耗費	—	—	—
一般管理費	7	5	▲ 2
営業外費用	81	36	▲ 45
臨時損失	—	—	—
純利益	37	49	12
目的積立金取崩額	—	—	—
総利益	37	49	12

## 3 資金計画

(単位：百万円)

区分	計画額	決算額	差額
資金収入	3,757	3,640	▲117
業務活動による収入	3,256	3,180	▲76

診療業務による収入	2,929	2,653	▲276
運営費負担金、交付金による収入	319	490	171
その他業務活動による収入	8	37	29
投資活動による収入	80	100	20
運営費交付金による収入	80	—	▲80
その他投資活動による収入	—	100	100
財務活動による収入	146	123	▲23
長期借入による収入	146	123	▲23
その他財務活動による収入	—	—	—
府中市からの繰越金	275	237	▲38
資金支出	3,757	3,640	▲117
業務活動による支出	3,075	3,136	61
給与費支出	1,889	2,119	230
材料費支出	655	450	▲205
その他業務活動による支出	531	567	36
投資活動による支出	146	121	▲25
有形固定資産の取得による支出	146	120	▲26
その他投資活動による支出	—	1	1
財務活動による支出	130	131	1
長期借入金の返済による支出	—	—	—
移行前地方債償還債務の償還による支出	130	131	1
次期中期目標の期間への繰越金	406	252	▲154

## 第6 短期借入金の限度額

該当なし

## 第7 剰余金の使途

平成24年度決算によって生じた剰余金については、全て積み立てました。